



# 道しるべ

道德通信

上尾市立太平中学校  
道德通信 第9号  
令和6年2月14日(水)  
発行者 校長 井浦 博史

～良きチームであるために大切なこと～

1 学年職員

みなさんは、いくつの「社会集団」に所属していますか。数えてみてください。

例えば、家族、太平中学校、〇〇〇部、〇年〇組、〇〇委員会、〇班などがあります。きっと数えれば多くの社会集団に所属していると感じるはずです。その集団には、意図的に参加しているものもあれば、偶発的なものもあります。

しかし、どちらも「集団」であることに変わりはありません。

では、その集団は良き「チーム」といいのでしょうか。そもそも「集団」と「チーム」は言葉としては似ていますが、全く違うものを指しています。「集団」とは、同じことをする人々の集まりのことであり、「チーム」とは共通の目的や目標を達成するために共に働く人々の集まりを指します。つまり、その集団が良きチームであるかどうかは、チームメイトの一人一人が共通の目標や目的を持ち、その達成のためにどれだけ行動しているかどうかで決まるということです。



先日、関東地方でもかなりの積雪があり、多くの太平中学校職員も通勤に時間がかかることが予想されました。朝雪掻きを手伝えたらと少々早めに学校へ着くと、すでに多くの先生方が正門付近で雪掻きをしていました。通勤するのも大変な中、生徒が安全に通学できるようにと同じ思いを持って行動する太平中学校の先生方は、まさに良き「チーム」だと強く実感し、嬉しい気持ちになりました。

みなさんも自分が所属するそれぞれの「集団」が良き「チーム」となるように、改めて目標を再確認してみてください。そして、目標を達成するために自分だけの役割を見つけ、行動してみてください。

きっとそんなチームの中で目標を達成できたときの喜びは、何にも変えがたいものになるはずです。

あなた<sup>365</sup> = ?

$$1^{365} = 1 \quad 1.01^{365} \approx 37.8 \quad 0.99^{365} \approx 0.03$$

3 学年職員

中学校1年生で習う累乗の計算です。累乗とは、同じ数や文字を掛け合わせることでですね。この3つの式をみて、どんな印象を受けますか？

この式を、努力の計算式として捉えてみましょう。1をいくら掛けても1で、変化はありません。ですが、0.01増えるだけで、365乗すると37倍も増加します。毎日ほんの少しだけ、ささいなことでも積み重ねれば、365日で大きな変化に繋がります。一方、同じ0.01の変化でも、少し減っただけで365乗すると0.03倍に減ってしまいます。どうなるかは、自分次第です。

こんなことを書きましたが、自分自身、毎日必ず成長しているとは思えません。つい、さぼってしまう日や、休憩する日もあります。しかし、1年後、今の自分より成長したと自信を持って思える人間でありたいとも思います。

「努力しなさい」「成長しなさい」そう言われると少し億劫な気持ちになるかもしれないけれど、1.01の頑張りで良い！少しでも良い！と思うと、やってみようかなと前向きになれる気がしませんか。授業や行事・部活、学校生活の中で、「1.01」を積み重ねてみてください。

## 「旅の思い出」

アピースマイルサポーター

今年も草津温泉に行くことに決めた。子どもが小さい時から夏休みのイベントとして関東地方を中心に各地の温泉を楽しむことにしている我が家である。“草津よいとこ一度はおいで！”という歌があるように街全体にイオウが漂う雰囲気が好きで時々訪れている。

コロナの時はさすが私たちが温泉に出かけなかった。コロナが少し収まった去年からまた訪れることにした。草津温泉が体にいいのかなと感じるのは湯畑を目の前で見ると「なるほど本物だ」と思えることだ。湯の温度が高いので湯もみをしなければ入れない温泉もあるという。私たちが泊まったホテルでは、湯もみをするほどの温度ではなく入湯できた。

温泉の効能は皮膚にいいと書いてあり、「マグネシウム、カリウム、ナトリウムを多く含む」と掲示されていた。草津の街の中心地はコロナ時に比べてなかなかの賑わいだった。去年はマスクをしている人が多かったが、今年はマスク姿はほとんど見られなかった。すれ違う方々はにこやかに話し合う姿が見られた。「東京から来ました。去年息子たちが来て、『よかったから行こう』と言われて来ました。と話してくれる人も。ホテルの方に「コロナ中はお客様ずいぶん減ったのでしょうかね。」と伺うと「コロナ前もコロナ中もコロナ後もお客様は変わりません。どうしてかというと群馬大学の先生が『草津温泉のお湯はコロナに役立つ』と言ってくれたからでしょう」と話してくれた。



## あいさつの力

アピースマイルサポーター



買い物からの帰り道、私の足取りはとても重かった。大きな買い物袋を抱えていたせいではない。その日落ち込む出来事があり、ずっとモヤモヤとした大きな雨雲が覆っていたからだ。

そんな時、1台の自転車が私をさっと追い越した。そして振り返ると私の顔を見て「こんにちは」と。慌てて「こんにちは」と返す私。小学生くらいの笑顔の素敵な女の子だった。面識のない私に自転車で追い越しざまにあいさつを…。驚きと共に私の心の中は、温かい気持ちでいっぱいになった。そして家族に話を聞いてもらってもすっかりしなかったのに、「こんにちは」の一言で大きな雨雲は一瞬で吹き飛んでしまったのだ。

少し歩くと、さっきの女の子が友達とおしゃべりしているのが見えた。

私は少し勇気を出して「さっきはありがとう。とても嬉しかったよ」と。

清々しい気持ちで足どり軽く家へと向かった。

あいさつの力ってすごいですね、一瞬で人の心を変えてしまうのだから。

例えば「こんにちは」「ありがとう」。そして「笑顔」。この一言に励まされ、喜びをもらっている人が、気がつかないうちにいるのですね。

みんなで広めましょう。「笑顔であいさつ！！」

